

現状

高一

今、日本で起きているいじめの現状を把握している人は、どれくらいいると思いますか。わたしは、日本の人口の千分の一以下だと考えています。なぜなら、最近のいじめは卑劣で巧妙なものになってきているからです。

最近のいじめの手口や方法は計算されたものになっていきます。例えば、親は自分の子供が四日連続で怪我をして、さらに持ち物がなくなつて家に帰れば、何かあつたと異変に気付くはずでず。しかし、持ち物がなくなつた一週間後に怪我をして帰つても、それがつながっているように感じるでしょう。か。いじめは周囲に気付かれないように、時期をずらすなどの巧妙な手口に変わつてきます。このような現状を思い、わたしは、そのことで悩みをため込んでしまい、子供たちが自ら命を絶つてしまわないかが心配です。

わたしは、以前いじめを受けていました。その

時は、陰で悪口を言われ、「菌」扱ひされてきました。SNS上で悪口を書き込まれたこともありましたが。

しかし、わたしは、被害者であつただけではなく、加害者でもありました。その時、わたしと同じようにいじめられている人が他に三、四人いました。その中でいじめの対象が日によつてくると変わっていくのです。自分が少しでも、いじめの対象にならないように、いじめを受けるのが怖くて、加害者と一緒になつて他の友達をいじめていた時もありました。ですから、自分がいじめを受けていることを、周りには決して言えません。これもいじめの現状として受け止めなければならぬと思います。加害者としての仲間意識があるために周りに言えず、わたしは一人で耐えることしかできなくなりました。

わたしがいじめを受けるようになってから二年が経つたある日、わたしをいじめていた子がわたしに向かつて謝つてきました。その時わたしは許すことができませんでした。なぜなら、わたしは、二年前にいじめを受け始めてから人間不信になり、

友達すら信じられなくなっていたからです。わたしがずっと悩んでいたこの二年間を、この人は自分の友達と楽しく笑って過ごしていたのかと思うと、嫉妬の気持ちが増えってきました。しかし同時に、いじめを受けていたころを思い出してしまい、ここで許さないと、また、いじめを受けるのではないかとも思いました。そして実際に口にした言葉は、「いいよ、気にしていないから。」でした。

いじめを受けた側は、そのことをいつまでもはつきりと覚えています。何をされたのか、何を言われたのか、心を傷付けられた全ての行為を覚えていきます。加害者が忘れていても、いじめを受けた側は、一生苦しみ続けていきます。いじめというものは、人生を大きく左右するものです。わたしは、いじめられてから友達ができなくなり、心の浮き沈みが激しくなりました。そして当時は、毎日のように死にたいと思うような、暗い日々を送っていました。今でもそれは辛い記憶です。

わたしはこのような現状を変えていかなければならないと思います。それには、どうすればよいでしょうか。いじめをなくすには、一人がいじめ

に立ち向かうのでは意味がありません。いじめられている人は周りの人に助けを求めています。周りの人も共にいじめに立ち向かえるように、その人といじめから目をそらさずに見てください。しっかりと見ていればその人の変化や助けを求め、サインに気付けると思います。そのようにして、いじめと闘っている人を一人でも多く助け出して、その人たちの大切な命を守ることが、わたしたちが今すぐにでもできることだと思います。あなたの勇気で現状を変えてみませんか。一人でも多くの人が協力してくれるように、わたしは、この思いを広げていきたいと思えます。